

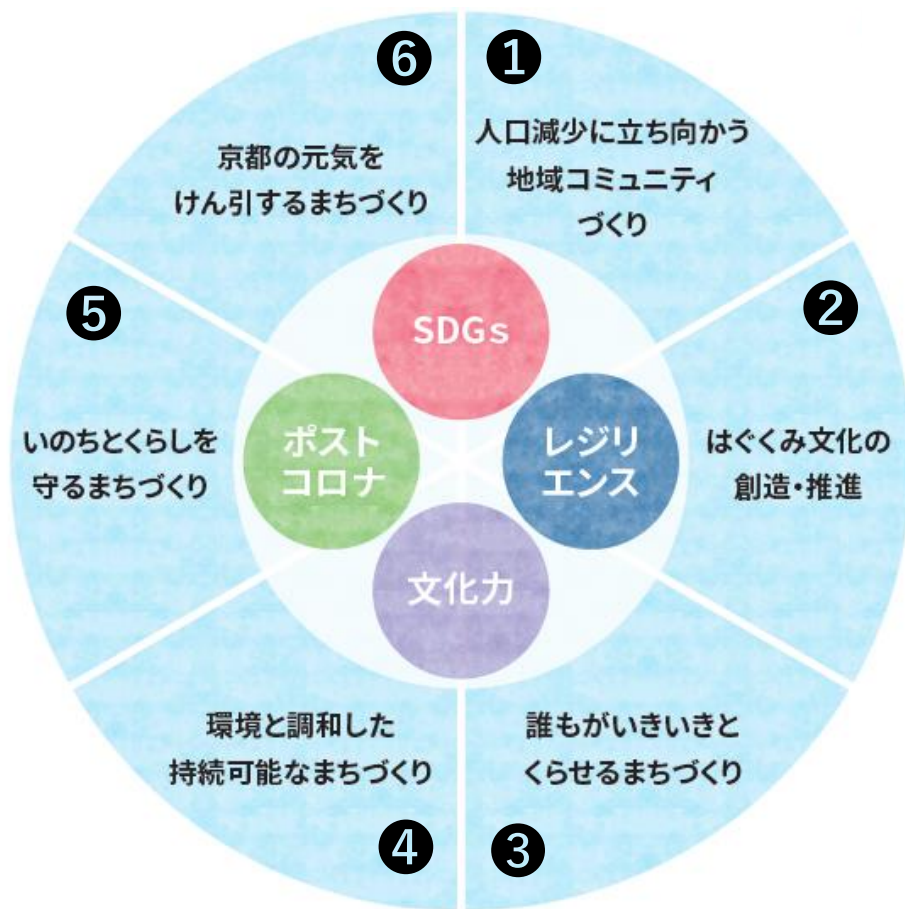
第3期下京区基本計画 令和5年度の取組状況 について

令和6年3月



第3期下京区基本計画(令和3年度～令和7年)

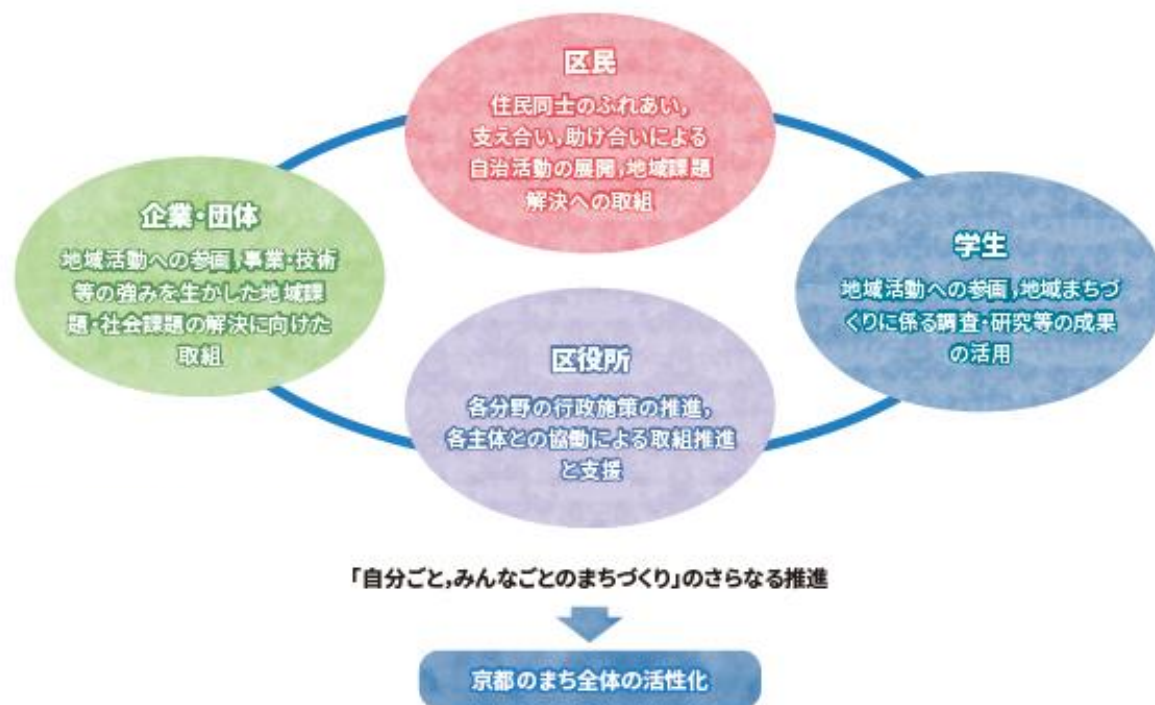
重点戦略



下京区の現状・課題や現下の社会情勢を踏まえ、京都市基本計画に基づき、レジリエンス、SDGs、文化力、ポストコロナを分野横断的に捉え、区民の皆さんとともに進めていくべき政策分野として、**6つの重点戦略**を設定。下京区がめざすまちの姿の実現に向けて、14の「リーディングプロジェクト」と94の「取組例」の計108の取組を推進します。

計画の推進

区役所、区民、企業、団体、学生等がそれぞれの役割を果たすとともに、各主体が連携・協働して「自分ごと、みんなごとのまちづくり」を進めて、京都のまち全体の活性化に結びつけます。



計画の推進に当たっては、**下京区民まちづくり会議**で計画の進捗状況を報告・確認し、今後の推進施策等について議論します。

第3期下京区基本計画の各戦略に基づく主な取組

戦略1 人口減少に立ち向かう地域コミュニティづくり

地域コミュニティの活性化に向け、多様な担い手による主体的なまちづくりを促進・支援し、自治会・町内会をはじめとする地域団体と、事業者・NPO・行政等が連携して地域課題を解決できるまちをめざします。

リーディングプロジェクト

★まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」による社会・地域課題解決の推進

令和5年度は、区基本計画の重点戦略に該当する活動22件採択（一般枠13件、地域まちづくり特別枠9件）。子育て支援、防災、地域コミュニティの活性化など、幅広い分野の活動を支援。



推進施策

①まちづくりを担う人づくり

○成徳自治連合会の取組

「安心・安全 絆の町 成徳」をスローガンに、「アイビーフェスタ成徳（成徳区民つどいの日）」を11月に開催。学区民の制作作品の展示や子育て世代が交流できる「ママカフェ」、飲食ブースが設置され、子どもから高齢者まで多くの人々が訪れた。交流の場から、顔が見える関係づくり、地域の防犯機能・文化力・自治会加入率向上に取り組んだ。



②持続可能な地域コミュニティづくり

○区長Meet upの開催

9月に区役所と市協・自治連会長（19名参加）との懇談の場として開催。「地域における空き家対策」をテーマに、講演会及び意見交換会（ワークショップ）を実施。



○崇仁まちづくり推進委員会の取組

コロナ禍で途絶えていた船鉾の巡行が、5月の崇仁春祭りで4年ぶりに復活。船鉾の上に乗って崇仁の祭り囃子を演奏する、本来の形を取り戻した。崇仁の祭り囃子が地域の子どもたちにより脈々と受け継がれ、9月の下京・京都駅前サマーフェスタ2023や10月の京都市立芸術大学オープニング式典、崇仁文化祭でも披露。今後も、お囃子という地域の資源を守り伝えながら、伝統芸術を核としたまちづくりに取り組む。



推進施策

○西七繁栄会の取組

「七条えんま堂」を中心に、商店街活性化、地域の賑わいづくりを目的に、商店街、団体、大学、企業等が連携し、10月に「七条えんま堂まつり2023」を開催。近隣小学校の児童の作品を展示した「西七条こども絵画展」や、京都市立芸術大学生が講師となった「お絵描き教室」、大正琴の演奏会・演奏体験も開催。文化・芸術を通して地域の魅力を発信した。



○社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会の取組

デイサービス利用者や地域の方々が京都市立芸術大学生と共に、廃棄衣料を活用した「大きなピクニックマット」を制作。様々な人が活動を通じて、コロナ禍で失われた人と人との繋がりを取り戻した。



○下京区ふれあい事業

- ・グッジョブ！キッズフェスタin下京→戦略2で詳述
- ・京の伝統文化体験フェスタin下京→戦略2で詳述
- ・人権月間事業→戦略3で詳述
- ・下京・南まちなかアート→戦略6で詳述
- ・キャンドルナイト梅小路「伝燈祭」2023→戦略6で詳述

○地域コミュニティアプリ「ピアッザ」

→戦略2で詳述

③社会・地域課題を解決するしくみづくり

○京都中小企業家同友会下京三支部との連携協定の推進

- ・グッジョブ！キッズフェスタin下京に同支部が協力（3体験メニュー出展）→戦略2で詳述
- ・月1回の昼食会で区役所から情報提供、同友会の例会に区職員が参加、両者の定期的な意見交換会を開催→戦略3で詳述

戦略2 はぐくみ文化の創造・推進

地域や支援機関、企業等も含めた全ての関係者が子育ての楽しさ、素晴らしさをともに感じながら、地域ぐるみで子ども・若者・子育て家庭を大切にすることで、安心して子どもを生み育てられる環境づくりによる移住・定住促進、はぐくみ文化の創造・推進を図ります。

リーディングプロジェクト

★団体、企業等との連携により地域ぐるみで子育てを支援する「下京みらい数珠つなぎプロジェクト」の推進

子育て支援に取り組む団体等との連携をより深めるとともに、ウェブサイト「下京子育て応援情報」でイベント情報等を発信。今年度は『カフェバー&レンタルスペースすずなりランタン』にインタビューを実施。子ども食堂など子どもの居場所づくりの活動や子どもと若者支援についての思い等を、ウェブサイト内の「数珠つなぎメッセージ」にて紹介予定。



★企業・職人等との連携による子ども・若者を対象とした職業体験や歴史講座等の実施

○グッジョブ！キッズフェスタin下京(ふれあい事業) (京都中小企業家同友会下京三支部・区内事業者と連携)

小学生が、体験をとおして楽しみながら「お仕事」や「伝統文化」を身近に感じることができるイベントを11月に実施。体験メニューは7種類で約200名が参加。

- ・福永念珠舗：念珠ブレスレットづくり体験
- ・京都中小企業家同友会下京A支部：不動産屋さん体験
- ・下京歯科医師会：歯の模型を削ってみよう 等



○京の伝統文化体験フェスタin下京(ふれあい事業) (区内事業者と連携)

京都が誇る「伝統文化」を体験しながら、その歴史や魅力についても知ることができる小学生以上を対象としたイベントを12月に実施。体験メニューは5種類で約160名が参加。

- ・笹楽庵：茶の湯体験
- ・草月WEST：いけばな体験 等



推進施策

①子どもと家庭をオール下京(区民、事業者、行政等)で育む環境づくり

○下京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の取組

「子ども・若者の今と未来のために大人として何ができるか」を共に考え、行動する市民ネットワーク。今年度は、梅小路公園での「京都わんぱくフェスタ」でのブース出展、下京涉成小学校でのミニ講座(「風呂敷のすてきな使い方、包み方を学びましょう!」)等を開催。



推進施策

○地域コミュニティアプリ「ピアッザ」を活用した交流促進

アプリを活用し、ユーザー同士の子育てや地域活動等の情報交換の推進、区政情報の発信を図った(下京区・南区エリアユーザー登録者数約2,700名)。

11月と3月に交流イベントを本山興正寺で開催。11月には、「子ども用品お譲り会」等を実施し、約200名の親子が参加。

3月開催時には、プロダブルダッチプレイヤーによるダブルダッチ体験会や、京都市立芸術大学生によるワークショップも開催。子どもたちがスポーツや芸術体験に触れる機会を創出した。



○オトナプロジェクト実行委員会の取組

下京区への移住者・乳幼児家庭に向けて、子育てや暮らしの手助けになる交流イベントの実施や情報を提供。

昨年度作成した地域情報や子育て支援を分かりやすくまとめた「子育て情報Map」は、今年度、さらに情報を追加した「子育て情報Map Vol.2」の作成・配布を目指す。



○特定非営利活動法人京都子育てネットワークの取組

産後母子の支援として、母子が共に過ごすことのできる「デイスティ」を今年度7回実施し、延べ38組が参加。子育ての仲間づくりの場や子育てのヒントを得られる場の提供も目指す。



②特に支援が必要な子ども・若者・家庭等への切れ目のない支援

○児童館、つどいの広場、子育てサロン

児童館やつどいの広場など子育て中の親子が気軽に集い、情報交換できる場を運営する機関や団体との連携・支援に努めている。

今年度は、11月の民生児童委員児童福祉部会において、子育てサロン(7箇所)の活動紹介と情報交換の場を設けた。



戦略3 誰もがいきいきとくらせるまちづくり

世代や分野を超えてさまざまな人や団体等が連携し、住み慣れた地域の中で誰もが「笑顔」で自分らしく、生きがいを持ち、健康に安心して暮らし続けることができるとともに、互いに違いを認め合い、支え合う地域社会、人権文化を構築すること等を通じて、都市のレジリエンス向上を図ります。

リーディングプロジェクト

★「フレイルと生活習慣病の予防」による「健康長寿のまち・下京」の推進

○健康まつり(下京区、南区合同実施)

- 「めざそう！健康長寿のまち 下京みなみ」をテーマに、10月に開催。約200名が参加。
- ・関係機関による健康相談、各種測定等の実施
 - ・講演会や健康づくりサポーター(※)による健康体操の実施
 - ・事前に募集していた健康にまつわる川柳の大賞表彰
- (※)健康づくりサポーターとは、地域の健康づくりについて学び、楽しみながら下京区民の健康づくりを支援するボランティア



○各種団体等と連携した健康づくり啓発

- ・京都中小企業家同友会下京三支部の昼食会と連携した健康づくりミニ講話を実施(6月、9月、12月の計3回)
- ・シルバークラブと協働で「ヘルス&ビューティーセミナー」を実施。フレイル予防体操を紹介(10月)



推進施策

①異文化や多様な生き方を認め合い、誰一人取り残さない支え合いのまちづくり

○「人権月間事業」開催(ふれあい事業)

- 12月の「人権月間」に合わせ、一人ひとりが尊重され、自分らしく生きることができる社会づくりを目指し、映画観賞会とトークセッションを開催。約130名が参加。
- ・映画:「共に生きる 書家 金澤翔子」
 - ・トークセッション:「全ての人が輝くまちづくり」
(ゲスト:革靴をはいた猫代表 魚見航大氏
Silent Voice代表 尾中友哉氏)



○下京こころのふれあいネットワークの取組

(下京民生児童委員会、下京区地域女性連合会、下京保健協議会連合会、下京区シルバークラブ連合会、下京区社会福祉協議会、下京東部・西部医師会と連携)

こころの病や障害についての理解を深め、こころの健康への市民の関心を高めるとともに、地域で生活するこころの病がある市民の方への支援活動を行うための地域組織(ネットワーク)を運営。6月に講演会「精神障害を持ちながら地域で生活するということ」、11月に区役所で作品展示を実施。現在、「下京・南まちなかアート」の一環として、区役所で作品を展示中。



推進施策

①異文化や多様な生き方を認め合い、誰一人取り残さない支え合いのまちづくり

○特定非営利活動法人クリエイター育成協会の取組

福祉事業所の利用者の方たちが培ってきたITスキルを発揮して、謎解きイベントを企画・制作。実務的な作業だけでなく、イベントに関するチラシの設置依頼を通して、地域の方々との交流の機会も創出。



②人生100年時代を見据えた健康で心豊かに過ごせ、活躍できるまちづくり

○食育セミナーの開催、食育指導員への活動支援

○お口からはじめる生活習慣病予防教室の実施

「健康長寿のまち・京都食育プラン」に基づいた栄養、食生活に関する適切な知識及び実践の普及啓発を実施。今年度は食育セミナーを11回開催予定。また、尚徳健康すこやか学級と連携した「口腔ケア」に関する教室を2月に開催。

○各種スポーツ大会の実施

住民の健康増進、体力の向上、地域コミュニティの活性化に向けて、下京区体育振興会連合会が地域において各種スポーツ大会を実施。

- ・下京区民グラウンドゴルフ祭(R5.5.28/36チーム(約150名))
- ・第69回下京区民ソフトボール大会(R5.6.18/4チーム(約50名))
- ・下京区民ソフトバレーボール大会(R5.11.12/12チーム(約70名)) 等



○特定非営利活動法人きょうと健康相談室の取組

介護予防の取組として、高齢者を対象としたウォーキング活動「下京健活ウォーク」を実施。



○下京・高齢者権利擁護支援ネットワークの取組

自分らしい生活を住み慣れた地域で最期まで続けることができる地域包括ケアシステムの実現を目指し、福祉や保健医療、法律等に関する様々な相談に対して多種の専門職が相談員となる相談会を実施。



○梅逕自治連合会「梅の花カフェプロジェクト」の取組

元梅逕中学校舎内に、「梅の花カフェ」を開設。地域の高齢者が集い、体操や趣味の催し等で交流。また、学区内のタキイ種苗(株)の協力を得た講座も開催。地域住民のフレイル対策の場を作るとともに、住民同士の交流活性化も進んだ。



戦略4 環境と調和したくらしが根付く持続可能なまちづくり

2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」の目標達成に向け、ごみの出ない循環型のライフスタイル・ビジネスモデル・地域社会への転換、環境問題を解決するイノベーションの促進、生物多様性の保全を学ぶ機会の創出や環境に配慮した実践活動の担い手育成等を通じて、持続可能な循環型社会の実現をめざします。

リーディングプロジェクト

★地産地消や自然・生物との共生の大切さ、地球温暖化対策、
ごみ減量等について学ぶ機会の創出、環境保全の担い手づくり

○特定非営利活動法人使い捨て時代を考える会の取組

使い古されたお箸や木の器に漆を塗り直すリペア(=修理)ワークショップや、リサイクル品譲渡会・環境に関する内容の紙芝居の実演などを通して、子どもと一緒に環境について考えるイベント等を開催。環境と調和したくらしが根付く、持続可能なまちづくりに寄与した。



○高瀬川ききみる会の取組

高瀬川やその周辺地域の変遷・歴史の痕跡について知り、高瀬川の歴史的意義や地域との関係への理解を深める機会とする「高瀬川いまむかし写真展」の開催や「高瀬川タイムトリップかわらばん」を発行。活動を通して、地域の環境変化や歴史の理解を深めるとともに、幅広い世代の交流を深めることができた。



推進施策

①徹底した省エネやごみ減量、脱炭素社会に向けた取組の推進や 門掃き、打ち水など、京のまちに息づく生活習慣の継続

○エコ学区サポートセンターの取組

下京区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会の方々に対し、2050年CO2排出量正味ゼロの実現に向け、「エコなくらし」を考える学習会「エコなくらして？みんなで考えましょう！」を、「2050年CO2ゼロ『どこでもトーク』」の一環として開催。

○南部まち美化事務所の取組

- ・「ピアッツァ」交流イベント内の「子ども用品お譲り会」に、今年度初めて、子ども服やおもちゃを提供。
- ・区役所を会場として、マタニティウェアやベビー服などのリユース会を開催。

資源の有効活用やごみの減量を図るとともに、子どもを安心して生み育てる環境づくりの推進に寄与した。



○資源物回収の取組

下京エコまちステーションや地域の集団回収、商業施設などで、16品目の資源物の回収を進める。

- ・使用済天ぷら油(区役所含む)40拠点
- ・乾電池(区役所含む)14拠点
- ・蛍光管(電気屋17ヶ所含む)21拠点
- ・コミュニティ回収事業168団体
- ・移動式拠点回収(有害)9回開催
- ・移動式拠点回収(まちかど)86回開催



○地域における清掃活動

「梅小路京都西・七条通賑わいづくり協議会」など、地域で活動する団体による定期的な清掃活動の実施。

戦略5 危機にしなやかに対応し「いのちとくらし」を守るまちづくり

区民・事業者・行政等の一層の連携強化、一人一人の防災や減災に対する意識の啓発等による「地域防災力」の向上に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。また、防犯・防火活動、交通安全対策を継続して実施し、子どもや高齢者をはじめ、誰もが安心安全にらせるまちづくりを推進します。

リーディングプロジェクト

★工夫を凝らした防災啓発の推進(楽しみながら学べる防災訓練プログラム(体験型防災ゲーム)、防災・福祉まち歩き会、減災カフェ、避難所運営ゲームなど)

○菊浜まちづくり推進委員会の取組

今年度は、学区防災訓練において、夜間に大地震が発生し停電状態の中避難所を開設しなければならない状況を想定した避難所開設訓練の実施や、ペット避難マニュアルを作成。今後も、工夫を凝らした防災啓発の推進を図る。



○有隣学区まちづくり委員会の取組

学区民の誰もが安心して避難生活を送ることができる、「みんなの避難所」の仕組みや運営体制づくりを目指す。今年度は、妊婦、乳幼児連れの親、ペット連れの家族の避難を想定した検討や講演会等を実施。避難所作りの機会を広く普及させ、学区全体の防災意識向上に取り組む。



○醒泉まちづくり委員会の取組

昨年度策定した「防災まちづくり計画」に基づき、災害に強いまちづくりを目指し、防災まち歩きや被災された方のお話を聞く座談会を実施。また、今後、「避難所運営マニュアル」を学区防災訓練で紹介。避難所運営を自分ごととして考えてもらえるよう努める。



推進施策

①レジリエントな地域づくりに向けたオール下京(区民、事業者、行政等)で取り組む地域防災力の向上

○ICTの活用(有隣学区、醒泉学区)

- ・有隣学区スマホ版防災マップ(有隣学区まちづくり委員会)
避難所の場所や地域の集合場所、消火器の位置などをスマートフォンで確認できるスマホ版防災マップを用いた避難訓練を、学区防災訓練にて実施。
- ・醒泉学区避難報告シート(醒泉まちづくり委員会)
大規模災害時、学区内の被害状況を速やかに把握するため、地域の集合場所から携帯電話・スマートフォンで避難報告シートにアクセスし状況報告できるように、避難報告シートの二次元コードを表示した「地域の集合場所」プレートを各町内に設置。

○下京区総合防災訓練・学区防災訓練の実施

感染症流行時の避難所運営について、学区防災訓練等において周知。区役所職員に対しても、感染症対策を踏まえた避難所運営及び避難所運営支援のための研修を実施。



推進施策

②下京にくらす人、働く人、訪れる人、学ぶ人、誰もが安心・安全にくらせるまちづくりの推進

○安心安全ネット継続応援事業の推進

学区において実施される防犯、防災、交通安全、子ども見守り活動等の取組に対し事業費の一部を補助する事業で、令和5年度は8学区(成徳、永松、修徳、有隣、菊浜、皆山、崇仁、西大路)を支援。

○防犯啓発活動

警察、地域防犯推進委員、事業者と連携し子どもからお年寄りを対象に幅広く防犯啓発を行う。区内の小学校を対象に「こども110番のいえマップ」を作成・配布し、警察と連携した防犯教室を実施。また、京都駅前やポルタ等で区内事業者、防犯推進委員とも連携し、特殊詐欺防止啓発、防犯啓発も実施した。3月には、防犯講演会を開催。



○青色防犯パトロールの実施 (地域、下京警察署、区役所で連携)

- ・偶数月に警察、地域と共に青色防犯パトロールを実施。
- ・毎月14日に下京区役所単独で青色防犯パトロールを行い、合わせて京都タワーのライトアップ及び京都駅自由通路で啓発画像を掲出。
- ・12月に、下京警察署にて青色防犯パトロール出発式を実施。



○各季全国交通安全・交通事故防止運動行事の開催 (下京区交通対策協議会、下京警察署、区役所で連携)

官民一体となり、各季全国安全運動期間等に啓発イベントの開催や、市域一斉啓発活動日に街頭啓発活動などを実施。

- ・各季全国交通安全・交通事故防止運動行事 3回開催
(お東さん広場、四条通一帯(河原町通～烏丸通間)等)
- ・市域一斉啓発活動 4回開催(区内の主要交差点)
- ・各学区交対協と区内小学校等との共催による交通安全推進の普及啓発
- ・タキイ種苗・下京警察署・区交対協等による、自転車乗車用ヘルメットの着用の広報活動(梅小路公園)

戦略6 京都の元気をけん引するまちづくり

起業家やクリエイティブな人々・企業を呼び込み、文化と経済の融合、異分野との交流によるイノベーションの創出、スタートアップ・エコシステムの形成を加速させるとともに、地域文化の継承・発展につながる観光推進等により、持続可能な地域経済の好循環を生み出し、京都の活力をけん引する創造的なまちづくりを進めます。

リーディングプロジェクト

推進施策

★下京区の東西エリアが交流・融合する「クリエイティブエリア」の創出 ①世界に羽ばたく起業家を支援する「スタートアップの聖地・下京」の推進

○京都試作センター(株)の取組

子ども向け体験型ワークショップを「Umekoji MArKet」で開催。実際の金属加工技術を使ったコマ作り等を実施し、製造業への興味を引き出し認知を広げることで、京都のものづくり文化の活性化を目指した。



○iroido kyotoの取組

若者に身近な「カルチャー」と「SNS」を活用し、まち歩きや「Umekoji MArKet」等でのマルシェ、京都リサーチパークでの「若者の視点で新しいまちづくりを考える交流会」を開催。より多くの若者が「まちづくり」や「地域」に興味関心を持つことを目指した。



○シンク・アンド・アクト(株)の取組

海外の美術大学で学んだ日本人のアート作品HAORI(羽織り)を、「淳風 bizQ」に展示。新しい形で表現したアート作品を通して、日本の伝統や美を再発見する機会を提供することで、多様な人々の交流を創出。



推進施策

○合同会社TSUKUMの取組

→交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクトで詳述



②京都芸大移転を生かした芸術活動と地域・生活文化の融合 ○下京・南まちなかアート(ふれあい事業)

3月1日～3月20日、まちなかのさまざまなスポットを訪れながら、アート作品や演奏など身近に芸術に触れられるイベントを実施。当該イベントを実施することで、文化芸術を基軸としたまちづくりの推進を目指す(南区と共同実施)。



○七条商店街振興組合の取組

・京都市立芸術大学アンテナショップ「ノキサキ」
京都市立芸術大学生や卒業生が日常でも使いやすい作品等を、七条商店街の松屋製菓様の店内を一部お借りし販売するアンテナショップを実施。



・京都市立美術工芸高校の授業への協力
デザイン専攻2年生の授業の一環として、生徒が七条商店街を歩き、気になった店舗と対話を重ねながら、パッケージや包装紙などのデザインを制作。

推進施策

③地域と調和した京都駅、梅小路周辺のさらなるにぎわい創出と回遊性向上

○梅小路みんながつながるプロジェクト (JR西日本ほか52団体が連携)

梅小路エリアの回遊性の向上・賑わいづくりを目的に、季節ごとのキャンペーン等を実施。また、昨年度に募集したまちのトリビアを掲出した看板を設置。これを活用した「京都・梅小路トリビアさんぽ」を開始し、まち歩きの魅力向上や、エリア内の回遊性向上を目指した。



○キャンドルナイト梅小路「伝燈祭」2023(ふれあい事業) (梅小路エリアの6施設(UGK)とふれあい事業実行委員会、区役所が連携)

10月、梅小路エリアへの誘客等を通じて下京区の活性化に取り組むことを目的に「灯り」をテーマとしたイベントを実施。各会場に区内の保育所、幼稚園、児童館の皆さん等が描いた、絵やメッセージ入りの行灯を展示(約1,500基)。京都市立芸術大学生による音楽演奏も行った。



○下京・京都駅前サマーフェスタ (西本願寺、東本願寺、京都駅ビル開発㈱、下京区役所)

まちの賑わいづくりを目的に8月～9月に開催。京都駅ビル駅前広場での「ステージイベント」、西本願寺エリアでの「本願寺納涼盆踊り」、東本願寺エリアでの「ツリークライミング」等を実施した。



○京都市中央市場水産棟見学エリアの運用開始

4月に運用開始。市場流通食材の消費拡大や「京の食文化」の継承・発展、京都駅西部エリアの賑わい創出を目指す。周辺施設や地域のイベント、各種団体と連携した取組を進めている。

○東本願寺前市民緑地「お東さん広場」の供用開始

3月の供用開始後、マルシェやものづくり市など様々なイベント等が開催され、区内の団体・事業者の活躍の場創出に繋がっている。

○おもてなし隊の取組

「新撰組の足跡をたどる西本願寺門前町ツアー」を3月に開催予定。まち歩きや講演を通して、西本願寺門前町の魅力発信を目指す。



④地域コミュニティの核となる持続可能な商店街づくり

○七条商店街振興組合の取組

東本願寺前市民緑地「お東さん広場」にて、自然との一体感を味わうアウトドア・アクティビティ「七条商店街ツリークライミング」を4月・9月に開催。魅力ある商店街・地域の賑わいを発信するとともに、参加されたお子様に、自然を大切にする気持ちの大切さを伝えることを目指した。



○嶋原商店街振興組合の取組

商店街の認知度向上や周辺住民のコミュニケーション促進、地域活動や町内活動への参加意識向上等を目的に、9月に「島原へ酔ってかナイト ビアストリート」を開催。同日、京都市立芸術大学生による音楽演奏会も開催した。3月には「島原へ酔ってかナイト 日本酒飲み比べ」を開催予定。



区計画推進強化事業

区基本計画に掲げる取組を、区役所と区民、事業者、団体、学生等との協働により進めるため、分野・テーマに応じて、主体的に取り組む有志メンバーからなる「チームしもぎょう」を組織し、計画の推進強化を図っています。

下京ローカルグッドレポーター

令和4年4月より、下京いきいき市民活動センター及び下京青少年活動センターの協力のもと、学生や若手社会人を対象に、まちづくりに関わる若手人材の育成と地域発信力強化を図ることを目的とした、「下京ローカルグッドレポーター」育成事業を実施。今年度も同事業を実施し、ライター講座やまち歩き等を通じて学びを深め、自らの視点でまちの様子を伝えるレポート記事を作成した(約20名が参加。レポート記事は、下京地域情報サイトに掲載)。



下京ローカルグッドアクション

昨年度に引き続き今年度も、10月から、まちの人に出会い、まちの人の想いに触れて、自分の行動でまちを良くするアクションプランを企画・提案するチーム活動を始動。「移住・定住」を大きなテーマにしつつ、区基本計画の重点戦略に沿ったテーマに取り組んでいる。3月22日に成果報告会を開催し、アクションプランを提案予定。



「フムフム商店街」の開催

昨年度の下京ローカルグッドアクションの、「七条通沿いの商店街の活性化を目指した取組」が、今年度も継続・発展。令和4年度も実施していた「商店街で購入した食材で弁当を作り、みんなで食べる『ランニングエコノミー』」に加え、京都市立芸術大学生によるワークショップ等も実施した「フムフム商店街」を、七条中央サービス会にて11月に開催した。



交流促進・まちづくりアイデア創出プロジェクト

区基本計画の実行主体となるようなまちづくり活動を行う事業者やグループの存在を顕在化し、連携・融合を図りながら、アイデア創出、アイデア実現化に向けたコミュニティ形成を行うことを目的に、第1回交流会を8月30日に開催。また、9月には、交流会から生まれたアイデアの事業化に向けた相談会等も開催。

第2回交流会は3月22日に開催予定。

第1回交流会

まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」令和5年度採択団体や区内のまちづくり活動実施団体、金融機関など約60名が参加。各自の取組の紹介や課題を共有しつつ、知恵や経験をシェアするワークショップを実施。



相談会等の実施による取組支援

第1回交流会から生まれた意見・アイデアの実現に向けた道筋をアドバイスしたり仲間づくりをサポートする相談会や、金融機関に御協力いただいたクラウドファンディングを学ぶ出張講座を実施。



第1回交流会から生まれた事業連携

○合同会社TSUKUM×(株)F&Iクリエイト

10月に淳風bizQで開催した「しまばらSOZORO」でレーザーカッターを使ってオリジナルコルクコースターを作るワークショップを開催。



○iroiro kyoto×(株)F&Iクリエイト

11月に島原フォトウォークを実施。20代を中心に約10名が参加。撮影した写真を、12月に淳風bizQで開催した「島原のまち写真展」にて展示。



○合同会社TSUKUM×京都信用金庫七条支店×大丸京都店

小学生以下の子どもを対象とした体験イベント「だいまるきょうとつこがくえん」において、3Dプリンターを活用したものづくりワークショップを12月に開催。

